

## TOPICS 3 プロバスケットチーム アルティリー千葉の新アリーナ建設について

千葉ポートアリーナを本拠地とするプロバスケットボールチーム「アルティリー千葉」のB1リーグ昇格に伴い、新たなホームアリーナの整備が求められています。千葉市美浜区の幕張海浜公園Aブロックに、約2万人を収容可能とする「幕張アリーナ(仮称)」を建設する構想が発表されました。海浜幕張駅から徒歩約3分の好立地で、敷地面積約5万㎡、高さ約40mの6階建て構造。バスケットボールの公式戦だけでなく、音楽ライブや演劇など多目的に活用される「アジア最大級のエンターテインメント施設」を目指して設計されており、サブアリーナも併設予定です。年間220万人の来場が見込まれ、幕張新都心の活性化にも寄与すると期待されています。

この整備は、ヒューリック株式会社が建設し、完成後に千葉市へ「負担付き寄付」として提供する民間主導の整備手法で進められ、公的資金を最小限に抑えるとともに、運営も民間のノウハウを活用する計画です。市としては、財政負担を抑えつつ、地域活性化・シビックプライドの醸成を目指しています。

一方、課題も山積しています。幕張にはすでにZOZOマリンスタジアムや幕張メッセがあり、大規模イベントが重なる春や秋は、混雑の激化が懸念されます。特にプロ野球とバスケットボールの開催が重なる春や秋は、混雑の激化が懸念されます。また、現在の建設予定地は幕張メッセの駐車場エリアにも近く、近隣には商業施設やアウトレットモールも集中しており、週末にはすでに交通渋滞や駐車場不足が慢性化しています。新アリーナによる来場者増加は、さらなる混雑を引き起こす可能性があり、周辺のインフラ強化や代替駐車場の確保、交通導線の見直しが急務となっています。

地元住民からは生活環境への不安の声も出ており、丁寧な説明と地域との合意形成が不可欠です。地域と行政、企業が協力して、2030年の開業を目指し、バランスの取れた計画を推進していくことが求められています。



建設予定地は、スポーツ・文化・エンターテインメントが集積する幕張新都心の県立幕張公園内  
JR京葉線 海浜幕張駅 徒歩3分の利便性が高い稀有な立地



※パースは現時点でのイメージです ※今後変更する可能性があります

### エンターテインメント利用イメージ



※パースは現時点でのイメージです ※今後変更する可能性があります

2万人収容のアジア最大級・最先端エンタメアリーナを整備  
興行の開催・設営がし易い高稼働アリーナとすることで  
世界の多様なエンターテインメントを発信し  
年間220万人の集客を見込む世界No.1の施設を目指す

### すみ隆仁チャンネル

アルティリー千葉の  
新アリーナ建設について

コチラで更に  
詳しくお話ししています!



「わかった!」「たのしかった!」  
って思ったら、チャンネル登録と  
いいね、よろしくおねがいします!

※検討中の内容であり、今後変更する可能性があります

## TOPICS 4 千葉県立保健医療大学の老朽化などの問題について

千葉県立保健医療大学は、2009年の開学以来、看護・栄養・リハビリテーション分野で保健医療人材を育成してきました。しかし、高齢化や医療ニーズの多様化を背景に、教育体制と施設の再構築が求められ、2025年5月23日に県から「機能強化に向けた調査検討事業報告書」が公表されました。この報告書は、教育機能の再設計、医療政策と連動した人材育成、大学院機能の整備、キャンパス立地の見直しを目的としています。アンケート調査は在学生や卒業生、医療関係者らを対象に実施され、大学の将来像が多角的に検討されました。育成すべき人材像として、ICTやAIに対応し多職種と連携できる専門職、地域課題に対応できる政策実践人材、国際的視野を持つ高度人材などが掲げられています。これに伴い、大学院の早期設置(保健医療学研究科)や、ヘルスイノベーションセンター、スキルアップ支援センターの設立、国際教育やリカレント教育の拡充が提案されています。また、カリキュラムにはAI、セキュリティ、データサイエンスといった内容を盛り込むとしています。キャンパス配置は6案の中から「幕張キャンパスへの統合」が最も支持され、利便性と拠点性が評価されています。施設整備案としては、看護学科実習室やシミュレーションルーム、講堂の再整備、キャンパスアメニティの拡充などが挙げられています。また、大学の運営形態として「公立大学法人化」が検討されており、柔軟な運営、研究資金や民間寄付の活用、広報力強化、外部評価体制の充実が可能になるとされています。地域と連携しつつ、より高度で専門的な保健医療人材の育成体制を構築することが期待されています。

今回の構想は施設更新にとどまらず、教育・研究・地域貢献の質的向上を図るもので、千葉県全体の医療体制強化と将来の人材確保に向けた重要な転換点です。今後も住民や関係者の理解を得ながら、段階的に改革が進められていく予定です。

### 保健医療大学の機能強化に向けた調査検討事業

保健医療大学は、平成21年4月に開学して以降、県内に多くの保健医療関係従事者を輩出していますが、昨今の保健医療を取り巻く環境変化に対応した人材育成や、施設・設備の老朽化への対応が急務となっています。

県では、令和6年度、保健医療大学が今後も本県の保健医療の向上に貢献する大学であり続けるために、将来を見据えた機能強化に向けた調査検討事業を行い、報告書を取りまとめました。

事業の実施にあたっては、「保健医療大学の機能強化に向けた調査検討会議」を設置し、調査内容や手法等について意見等を伺いながら調査検討を進めました。

調査検討にあたっては、高校生や保医大在学生をはじめとする若者や、当事者の目線を重視する観点から、保医大卒業生、保健医療従事者、保健医療機関等にアンケート調査を実施し、取りまとめの参考とした。(回答総数:11,419名)

現学科は、看護学科、栄養学科、歯科衛生学科、リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻)



現キャンパスは「幕張キャンパス」「仁戸名キャンパス」の2ヶ所

### 調査検討事業報告書の一部を抜粋

#### 学部・学科の構成や教育内容

- 看護学科は、看護リーダー人材の養成と共に、県内看護職者数の増加への寄与を目指して、**定員を増員**
- 栄養学科・歯科衛生学科・リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻)は、現状定員維持。引き続き少人数教育による質の高い人材育成を実施
- 活躍の場が広がっている**言語聴覚士**の不足に対応するため、リハビリテーション学科に**言語聴覚療法学専攻を新設**

#### キャンパス立地

調査検討会議では「幕張キャンパスへ統合」との意見が多数。  
在学生・卒業生アンケートでも「幕張に統合すべき」が最多数。

#### 大学院の設置可能性

可能な限り早期に**大学院(保健医療学研究科)**を設置する。

### すみ隆仁チャンネル

千葉県立保健医療大学の  
老朽化などの問題について

コチラで更に  
詳しくお話ししています!



「わかった!」「たのしかった!」  
って思ったら、チャンネル登録と  
いいね、よろしくおねがいします!

県政についての皆様のご意見・ご要望をお聞かせください!

すみ隆仁 事務所

<https://sumitakahitokouenkai.com/>

すみ隆仁

[sumitakahitokouenkai@gmail.com](mailto:sumitakahitokouenkai@gmail.com)

ホームページ



Instagram



X@sumitakahito



YouTube



メール



〒261-0001 千葉県美浜区幸町1-2-2 桑田ビル3A ☎043-246-5066 📠043-262-9930